

総合戦略政策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
基本的方向	<p>大きな雇用を産む産業や、著名な観光地を持たないこの町の最大の財産は人であり、人と人との繋がりでであることを再確認し、そこから生まれる、「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域づくりを、二宮町総合戦略の第1の基本目標とします。</p> <p>二宮町人口ビジョンを実現するためには、出生率の向上と子育て家庭の定住促進が不可欠となりますが、安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい地域とは、子育てがしやすい地域であるとともに、誰もが健康でいきいきと生活することができ、安心して住み続けられる地域であることも必要になります。</p> <p>この二宮町総合戦略を機に、改めて地域コミュニティを見直し、子どもも大人も、誰もがいつでも気軽に地域との繋がりを持てるような取り組みや、多世代の交流を促進するとともに、町民生活を支える公共施設のマネジメント、防災・防犯のまちづくりを推進します。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
住み続けたいと思う町民の割合	76.5%	80.5%			79.5%	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる」を達成するために設定した4つの施策は、概ね順調に進行している。</p> <p>「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域を実現するためには、町民の地域活動への参加やコミュニティづくりへの意識を高め、多様な主体が連携、協力することにより、地域の繋がりを支え合いを深め、変化する町民ニーズや地域課題の解決、さらには町全体の力の底上げを図る必要がある。併せて、公共施設の今後のあり方については、人づくり、地域づくりに資する拠点としての視点からの検討も不可欠である。</p> <p>そのためには、今後、従来施策の縦割りの弊害を解消し、部局横断的に、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要があると考える。</p> <p>本格的な人口減少・少子高齢化社会が到来する中、活力にあふれ、持続可能な地域社会を実現するためには、行政からの一方通行の取り組みではなく、地域包括ケアシステムの構築に象徴されるような町民をはじめ多様な主体と行政が協力・連携することがより一層求められている。</p> <p>そのために、町は、地域の多様な主体が町民活動に参加した成果を実感できる仕組みを構築するとともに、公共施設の再配置や町有地の有効活用をはじめ、各計画等の進捗状況を積極的に情報提供した上で、ともに考え、行動することが重要である。</p> <p>なお、KPIの目標値については、今後の事業推進や評価を左右するものであることから、KPI「健康寿命(国保データベース)」及び「地区防災マニュアルの策定」については、町の実情や先々の計画等の明確な根拠の上に設定が行われることが望ましい。併せて、その目指すべき方向に向け、目標値にとらわれることなく、積極的な推進に努めることが期待される。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい地域の実現に繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性

基本目標「安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる」は、外部評価を踏まえ、目標達成に向け、さらなる施策の展開を図る。

今後は、複雑化・多様化する町民ニーズ等の新たな地域課題の解決に向け、地域の実情やニーズを把握し、地域コミュニティを主体としたまちづくりを推進するとともに、町民や団体等とより一層に連携・協力し、地域ごとの特性に配慮した効果的な施策の展開に努める。

併せて、町民をはじめとした多様な担い手との協働を推進していくため、公共施設のあり方の検討をはじめ、将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進にあたっては、従来の自治体主導の形のみならず、ホームページや広報紙・SNS等の活用により、現状や課題、進捗状況等について積極的に情報提供し、共有するとともに、ワークショップやアンケート等により、町民の意見聴取や対話の機会等を設け、広く理解と協力を得ながら、着実に推進する。

こうした取り組みを力強く推進することにより、数値目標である「住み続けたいと思う町民の割合」を上昇させ、「二宮町人口ビジョン」の実現を目指す。